

会 議 結 果 の お 知 ら せ

1 開催した会議の名称

平成27年度第1回佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進審議会

2 開催日時

平成27年8月5日（水）13時30分から15時30分まで

3 開催場所

佐伯市役所 本庁舎 6階 第1委員会室（佐伯市中村南町1番1号）

4 出席者

- (1) 委員：(会長) 御手洗吉徳、(副会長) 出水薫、笹田哲史、清家修、太田博士、
西條隆洋、脇田文明、柳井康彦、谷口久枝、脇坂浩、佐藤美穂、高橋博徳、
江川俊彦、石本真隆、木許和彦、久下律、白石哲也、丸山純一、梶川善寛、
染矢芳樹、疋田秀美、佐藤政代、橋本千春、岩尾美穂、渡邊由佳
委員 28 名中 25 名出席
- (2) 市職員等：佐伯市長 西嶋泰義、総合政策部長 久保田与治郎
(事務局：秘書政策課) 課長 武田晴美、金田隆、岩切亮佑
計5名

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

2人

7 議題及び結果

(1) 議題

ア まち・ひと・しごと創生について

(ア) まち・ひと・しごと創生の概要について

(イ) 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進審議会の役割について

(ウ) 佐伯市人口分析について

イ 意見交換

(2) 結果

次回以降、いただいた意見を反映した佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案を事務局から示し、各委員から意見を求めることとした。

8 審議の内容

委員委嘱式を行った後、会長・副会長の選任を行った。会長に御手洗吉徳氏、副会長に出水薫氏が選出された。会長の御手洗吉徳氏が議長となり、議事を進めた。主な内容は、事務局がまち・ひと・しごと創生について説明した後、質疑応答及びフリートーク形式による意見交換を行った。

(質疑応答)

会 長 事務局の説明内容について質疑如何。

委 員 今回作るまち・ひと・しごと創生総合戦略と既存の市の総合計画等の諸計画との関係について、どのような位置付けになっているのかを確認させて下さい。

事務局 佐伯市では、一番大きな計画として第1次佐伯市総合計画があります。こちらは平成20年に策定を行ったものです。こちらが大本になり、福祉なら福祉の分野で計画がありますし、教育なら教育の分野で計画があります。今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、この総合計画の下部計画という位置付けと考えています。一つの大枠として第1次佐伯市総合計画がありまして、その一部小枠、分野を限定した形でまち・ひと・しごと創生の総合戦略があるという様な認識です。

委 員 今のお答えを踏まえて、もう1点確認したい点がありまして、既存の計画の中での人口展望と今回の作る人口シミュレーションが違うものになると、結局の所、既存の計画は一体何なのかという話もありますので、この人口シミュレーションの扱いについて、どういう風にお考えなのかを補足的にお伺いしたい。

事務局 既存の計画では、この人口シミュレーション案の8ページに書いてあります通り、第1次佐伯市総合計画では平成29年度に73,000人、都市計画マスタープランにおいては平成42年に66,000人としております。ただ、こちらの数字については、その当時に今回の人口シミュレーションで行いました合計特殊出生率の仮定であったり、社会移動の仮定であったり、そういったものを踏まえたものではありません。そういった仮定を持って、より現実的な人口の将来展望を今回の人口シミュレーション案とし描き出した場合、それが仮に今ある計画で打ち出している人口の目標と違うとしても、今回策定するものの方がより現実的に即しているのではないかと認識しております。

委 員 この会があと何回開催されるのか、次回以降の見通し、少なくとも次回は何をする想定なのかという事について、事務局から一言御説明頂ければ今日の位置付けが分かりやすくなるかと思います。

事務局 今回私どもがお聞きしたい事は、今まさに皆さんがそれぞれの業界・世界の中で考えておられる事、お悩み・お考え、こういったものを率直に話して頂いて、それを勘案しまして、今月の中ほどまでに佐伯市の戦略の素案を作り上げたいと考えております。8月28日に第2回の審議会を予定しております。次回はその素案について皆様方に、その素案がどうなのか、佐伯市の将

来…5年後の姿を見据えて、良いのかどうなのかという事の御意見を頂きたいという事になっております。

最後にあと何回開くのかという事ですが、10月までに今日を含めまして、出来れば4回、少なくとも3回の会合を持つ予定としております。

それから補足でございますけれども、これは今回ぽっきりで終わるのではなくて、年度毎にPDCA、つまり成果がどうだったのか、取り組みがどうだったのかという事の反省を含めて毎年度、開催をしていく考えであります。

(主な意見)

(1) 商業

- ・小売店が生き残っていくには、非常に厳しい現状。
- ・事業主の高齢化により閉店を考えているところあり。
- ・個人事業者で廃業される方よりも創業される方が非常に少ない。
- ・事業体としては持続する活力ある所もある。創業者と撤退事業者のマッチングがうまくできれば、後継者がいない所でも商売を続けられる提案が出来るのでは。

(2) 農林水産業

ア 農業

- ・佐伯は田畑が狭く、稲作で生計を立てられない。
- ・生計を立てるには施設園芸。販売高ではキク、いちご。
- ・比較的いちごは専業で生活が出来る。若い人も就農している。しかし、土地を探すのに苦労している。

イ 林業

- ・佐伯は、全国的に見ても注目されている。全国的に見て、50年で木を切って収入が得られるのは佐伯から都城近辺まで。他地域は100年ほど。
- ・苗木生産は、また産業が一つ生まれるのではないかと取組中。
- ・林業・製材業は裾野が非常に広い。木を切る・製材・輸送・港湾から輸出等、全体に目を向けた取組が必要では。

ウ 水産業

- ・水産業は、収入が少ないので就業する人が少ない現状。
- ・魚の値段が問題。経費は高騰しており、所得が削られてきている。
- ・水産業の働き手が少なく、高齢化。高卒を受け入れている会社も中間層(30～40歳代)がいない。

(3) 若者の就業

- ・求人数は非常に増えている。ハローワーク佐伯で受けた求人は昨年の2倍。
- ・市内の求人はあるが、高校を卒業して就職する若者は少ない。安定を求めて進学していく生徒が多い。
- ・進学者が大学・専門学校等を卒業するときに、地元の情報が伝わらないのでは。

- ・地元が好きで帰って来たいと思っている高校生はたくさんいる。以前に比べると地元志向が強くなっている様な気がする。
- ・高校生や保護者が地元の仕事として頭に浮かぶのは、医療系・公務員・学校の先生。実際には活躍できる仕事が佐伯にあるのでは。
- ・求人と求職者とのミスマッチ。地元企業の魅力を出していく必要があるのでは。
- ・教育の現場で出来ることは人づくり。いろんな方が関わって若い力を育てる地域であってほしい。
- ・子どもたちは、目先の明るい部分だけで仕事を選ぶ特徴もある。表には直接出ないが、社会経済を支える業界にも目を向ける様なキャリア教育が必要。
- ・U ターン者も全く違う業界に入るのは勇気が入る。人材育成支援があれば、雇用する方も雇用しやすいのでは。

(4) 子ども・子育て支援

- ・佐伯の子どもはのびのびしている。市の子育て支援がうまく回りつつあるのではないか。子どもが元気な地域というのは、働く場所さえあれば戻ってきたいというまちだと思うので、まず子どもに投資を。
- ・佐伯には児童養護施設がない。もっと子どもたちが生きやすい地域に。もちろん里親さんを増やすことも大事。
- ・子育てと仕事の両立支援を。
- ・子育て支援の情報をどこでキャッチすれば良いかわからない。もっと PR を。

(5) 高齢者の生きがい

- ・元気な高齢者が地域貢献できる場、活躍できる場を作れないか。
- ・元気な高齢者は仕事をされている。高齢者のパワーを活用すると良いのでは。

(6) まちづくり

- ・少子高齢化が進む中で、地域とのつながり、人と人とのつながりが大事。
- ・佐伯市民が愛すべきもの、毎日活用して満足できるものを作ってこそ、そこに人が住み着くのではないか。
- ・佐伯は大き過ぎるので、佐伯としてのアイデンティティを持つことや佐伯として打ち出すという事は、むしろそれぞれの地域の特色を消してしまう事になるのでは。旧市町村単位での個性を発揮する方向で考えた方が良いのでは。
- ・学校の統合、地域で子どもの声がしなくなって寂しい状況。
- ・空き家問題に対する解決策を金融機関と市で見出すことはできないか。

(7) 策定する総合戦略について

- ・2060 年（平成 72 年）に現役である人たちが関与しない総合戦略はあまり意味がない。中高生が話し合いに参加するような機会を。

- ・国の人口の将来展望はかなり無理がある。市が国や県に準拠するとしても、総合戦略は最悪の事態が避けられれば良いという構えで策定すべきでは。
- ・最悪の事態に佐伯市は何が出来て、そのときの人口規模・構成でどういう暮らしが成り立つのかを真剣に考えるべきではないか。
- ・選択と集中で一本決めてその中で、体系づけた活動をやっていないと実効性があるものはできない。

9 会議の資料名一覧

- (1) まち・ひと・しごと創生の概要について
- (2) 佐伯市人口シミュレーション案
(佐伯市人口分析、(別冊)行政区別人口及び高齢化率)
- (3) 佐伯市のこれまでの取組
- (4) 佐伯市における先行した取組
- (5) 国 まち・ひと・しごと創生 パンフレット
- (6) 大分県人口ビジョン及び総合戦略概要
- (7) まち・ひと・しごと創生 大分県総合戦略の概要

10 問い合わせ先

担当課 総合政策部 秘書政策課 政策推進係
電話番号 22-4104 内線 586